

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-52	高等学校	地理歴史科	日本史B	1～3 学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
81 山川	日B309	詳説日本史 改訂版		

1. 編修の趣旨及び留意点		
<p>(1) 日本の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、日本の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うことができるよう留意した。</p> <p>(2) 標準単位数 4 単位で履修されることを前提として編修し、できる限りわかりやすく詳細に叙述した。その際、政治・経済・社会・文化などの諸事象は、相互の関連を重視した叙述を心掛け、単なる事項の羅列にならないよう十分に注意した。</p> <p>(3) 諸資料を多角的に検討・解釈し、その結果を自らの言葉で論述させることを意図して、「歴史と資料」「歴史の解釈」「歴史の説明」「歴史の論述」ではそれぞれ特定の主題を設定し、歴史考察の手段・方法を具体的な資料に基づきながら例示した。</p> <p>(4) 高等学校における日本史教育の重要性を考慮し、特に公正な立場から正確に叙述するとともに、必要に応じて考古学や民俗学などを含めた歴史学の新しい研究成果を織り込んで、包括的に叙述した。</p>		
2. 編修の基本方針		
<p>(1) 平成 21 年 3 月改訂の高等学校学習指導要領「日本史B」の目標、内容、内容の取り扱いの趣旨に従ったが、高等学校における日本史学習上の問題点や教育現場における指導例などを考慮して、一部独自の構成を加えて作成した。</p> <p>(2) 高等学校学習指導要領「日本史B」の内容である「原始・古代の日本と東アジア」「中世の日本と東アジア」「近世の日本と世界」「近代日本の形成と世界」「両世界大戦期の日本と世界」「現代の日本と世界」の趣旨に従って、部・章立てをおこなった。</p>		
3. 対照表		
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
国宝をみる(口絵)	* 伝統文化への理解や親しみが深まるよう、口絵では国宝を扱い、その選定にあたっては地域や時代のバランスにも注意を払った(第5号)。	I～IXページ
歴史と資料 大仏造立をめぐる歴史資料 第I部 原始・古代	* 「歴史と資料」では、主体的な学習を促すため、歴史を考察するための具体的な資料を	4～6ページ

<p>第1章 日本文化のあけぼの</p> <p>1 文化の始まり</p> <p>2 農耕社会の成立</p> <p>3 古墳とヤマト政権</p> <p>第2章 律令国家の形成</p> <p>1 飛鳥の朝廷</p> <p>2 律令国家への道</p> <p>3 平城京の時代</p> <p>4 天平文化</p> <p>5 平安王朝の形成</p> <p>第3章 貴族政治と国風文化</p> <p>1 摂関政治</p> <p>2 国風文化</p> <p>3 地方政治の展開と武士</p>	<p>例示した(第2号)。</p> <p>*部の冒頭で、原始・古代の展開を世界の歴史と関連付けて概観し年表も掲載した(第1号)。</p> <p>*全体として、公正な立場から客観的に叙述した。日本の歴史が、さまざまな地域や人々との交流の中で、その影響を受けつつ展開してきたことを、多方面からバランスよく叙述した(第3号)。</p> <p>*文化史は、時代背景や周辺諸国との交流とも関連付けて叙述し、伝統文化への理解や親しみが深まるよう、今日に伝わる文化財などは積極的に図版として取り上げた(第5号)。</p>	<p>7ページ</p> <p>8～84ページ</p> <p>8～16, 27～28, 36～37, 40～41, 54～60, 64～67, 72～78ページ</p>
<p>第Ⅱ部 中世</p> <p>第4章 中世社会の成立</p> <p>1 院政と平氏の台頭</p> <p>2 鎌倉幕府の成立</p> <p>3 武士の社会</p> <p>4 蒙古襲来と幕府の衰退</p> <p>5 鎌倉文化</p> <p>第5章 武家社会の成長</p> <p>1 室町幕府の成立</p> <p>2 幕府の衰退と庶民の台頭</p> <p>3 室町文化</p> <p>4 戦国大名の登場</p> <p>歴史の解釈 中世の商品流通</p>	<p>*部の冒頭で、中世の展開を世界の歴史と関連付けて概観し年表も掲載した(第1号)。</p> <p>*全体として、公正な立場から客観的に叙述した。日本の歴史が、さまざまな地域や人々との交流の中で、その影響を受けつつ展開してきたことを、多方面からバランスよく叙述した(第3号)。</p> <p>*文化史は、時代背景や周辺諸国との交流とも関連付けて叙述し、伝統文化への理解や親しみが深まるよう、今日に伝わる文化財などは積極的に図版として取り上げた(第5号)。</p> <p>*「歴史の解釈」では、主体的な学習を促すため、歴史を考察するための資料の解釈について具体的に例示した(第2号)。</p>	<p>85ページ</p> <p>86～152ページ</p> <p>93～95, 113～119, 139～147ページ</p> <p>153～154ページ</p>
<p>第Ⅲ部 近世</p> <p>第6章 幕藩体制の確立</p> <p>1 織豊政権</p> <p>2 桃山文化</p> <p>3 幕藩体制の成立</p> <p>4 幕藩社会の構造</p> <p>歴史の説明 朝鮮通信使</p> <p>第7章 幕藩体制の展開</p> <p>1 幕政の安定</p> <p>2 経済の発展</p> <p>3 元禄文化</p> <p>第8章 幕藩体制の動揺</p> <p>1 幕政の改革</p>	<p>*部の冒頭で、近世の展開を世界の歴史と関連付けて概観し年表も掲載した(第1号)。</p> <p>*全体として、公正な立場から客観的に叙述した。日本の歴史が、さまざまな地域や人々との交流の中で、その影響を受けつつ展開してきたことを、多方面からバランスよく叙述した(第3号)。</p> <p>*文化史は、時代背景や諸外国との交流とも関連付けて叙述し、伝統文化への理解や親しみが深まるよう、今日に伝わる文化財などは積極的に図版として取り上げた(第5号)。</p> <p>*「歴史の説明」では、主体的な学習を促す</p>	<p>155ページ</p> <p>156～195, 198～248ページ</p> <p>165～169, 183～185, 212～217, 224～231, 243～248ページ</p> <p>196～197ページ</p>

<p>2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化</p>	<p>ため、歴史を説明するための多角的な考察について具体的に例示した(第2号)。 *「山里の歴史と古文書」のコラムでは、自然との共生という観点から、環境保全の重要性にも配慮した叙述を心掛けた(第4号)。</p>	<p>ジ 204ページ</p>
<p>第IV部 近代・現代 第9章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係 5 近代産業の発展 6 近代文化の発達 第10章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民生活の変容と大衆文化 4 恐慌の時代 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦 第11章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦と開始と講和 第12章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ 第13章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容 歴史の論述 歴史の流れを組み立てる</p>	<p>*部の冒頭で、近代・現代の展開を世界の歴史と関連付けて概観し年表も掲載した(第1号)。 *全体として、公正な立場から客観的に叙述した。日本の歴史が、さまざまな地域や人々との交流の中で、その影響を受けつつ展開してきたことを、多方面からバランスよく叙述した(第3号)。 *文化史は、時代背景や諸外国との交流とも関連付けて叙述し、伝統文化への理解や親しみが深まるよう、今日に伝わる文化財などは積極的に図版として取り上げた(第5号)。 *「田中正造と足尾鉍毒事件」のコラムや、「高度成長のひずみ」の記述では、生命の尊さや環境の保全の重要性にも配慮した記述を心掛けた(第4号)。 *「歴史の論述」では、主体的な学習を促すため、具体的な資料に基づいて歴史を総合的に考察し論述するための手段や方法について例示した(第2号)。</p>	<p>249ページ 250～415ページ 259～260, 269～272, 308～317, 333～338, 357～358, 384～385ページ 307, 400～401ページ 416～417ページ</p>

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- (1) わかり易さ、学習上の便宜を考慮して、ふりがなや参照頁などを適宜挿入した。
- (2) 旧石器時代以前の記述では人類学の研究成果を反映させ、近代・現代では統計資料などの図版を多く組み込んだ。
- (3) 国内の動向のみならず、周辺の国々をはじめとする日本と諸外国との関係に留意しながら叙述し、随所に地図を掲載した。
- (4) 図版はできる限り大きく掲載した。また、地図・グラフ類は専門家による校閲のもと、カラーユニバーサルデザインにも配慮し、読み取りやすい表現方法での作図を心掛けた。
- (5) 教育現場の教科書に関する要望・意見などを十分に検討し、可能な限りそれらを叙述に生かすよう努めた。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-52	高等学校	地理歴史科	日本史B	1～3 学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
81 山川	日B309	詳説日本史 改訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色
<p>*内容の全体にわたって、国際環境や地理的条件などと関連付けて叙述するとともに、地図や年表などの諸資料も適宜掲載した。また、図版の作成にあたっては、見やすさ・わかりやすさにも配慮した。</p> <p>*日本文化の特色や形成過程が総合的に理解できるよう、文化史は時代背景と関連付けた叙述を心がけた。また、生活文化に関連する内容も多く取り上げ、文化の時代区分についても再考した。</p> <p>*「歴史と資料」「歴史の解釈」「歴史の説明」「歴史の論述」において、歴史の考察が諸資料に基づいてなされることを具体的に例示した。</p>
2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
歴史と資料 大仏造立をめぐる歴史資料	(1) 原始・古代の日本と東アジア	4～84 ページ	1
第Ⅰ部 原始・古代	ア 歴史と資料		8
第1章 日本文化のあけぼの	イ 日本文化の黎明と古代国家の形成		
1 文化の始まり	ウ 古代国家の推移と社会の変化		
2 農耕社会の成立			15
3 古墳とヤマト政権			
第2章 律令国家の形成			
1 飛鳥の朝廷			
2 律令国家への道			
3 平城京の時代			
4 天平文化			
5 平安王朝の形成			
第3章 貴族政治と国風文化			6
1 摂関政治			
2 国風文化			
3 地方政治の展開と武士			

<p>第Ⅱ部 中世</p> <p>第4章 中世社会の成立</p> <p>1 院政と平氏の台頭</p> <p>2 鎌倉幕府の成立</p> <p>3 武士の社会</p> <p>4 蒙古襲来と幕府の衰退</p> <p>5 鎌倉文化</p> <p>第5章 武家社会の成長</p> <p>1 室町幕府の成立</p> <p>2 幕府の衰退と庶民の台頭</p> <p>3 室町文化</p> <p>4 戦国大名の登場</p> <p>歴史の解釈 中世の商品流通</p>	<p>(2) 中世の日本と東アジア</p> <p>ア 歴史の解釈</p> <p>イ 中世国家の形成</p> <p>ウ 中世社会の展開</p>	<p>85～154 ページ</p>	<p>13</p> <p>11</p> <p>1</p>
<p>第Ⅲ部 近世</p> <p>第6章 幕藩体制の確立</p> <p>1 織豊政権</p> <p>2 桃山文化</p> <p>3 幕藩体制の成立</p> <p>4 幕藩社会の構造</p> <p>歴史の説明 朝鮮通信使</p> <p>第7章 幕藩体制の展開</p> <p>1 幕政の安定</p> <p>2 経済の発展</p> <p>3 元禄文化</p> <p>第8章 幕藩体制の動揺</p> <p>1 幕政の改革</p> <p>2 宝暦・天明期の文化</p> <p>3 幕府の衰退と近代への道</p> <p>4 化政文化</p>	<p>(3) 近世の日本と世界</p> <p>ア 歴史の説明</p> <p>イ 近世国家の形成</p> <p>ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容</p>	<p>155～248 ページ</p>	<p>13</p> <p>1</p> <p>7</p> <p>11</p>
<p>第Ⅳ部 近代・現代</p> <p>第9章 近代国家の成立</p> <p>1 開国と幕末の動乱</p> <p>2 明治維新と富国強兵</p> <p>3 立憲国家の成立と日清戦争</p> <p>4 日露戦争と国際関係</p> <p>5 近代産業の発展</p> <p>6 近代文化の発達</p>	<p>(4) 近代日本の形成と世界</p> <p>ア 明治維新と立憲体制の成立</p> <p>イ 国際関係の推移と立憲国家の展開</p> <p>ウ 近代産業の発展と近代文化</p>	<p>249～317 ページ</p>	<p>22</p>
<p>第10章 二つの世界大戦とアジア</p> <p>1 第一次世界大戦と日本</p> <p>2 ワシントン体制</p> <p>3 市民生活の変容と大衆文化</p>	<p>(5) 両世界大戦期の日本と世界</p> <p>ア 政党政治の発展と大衆社会の形成</p> <p>イ 第一次世界大戦と日本の経</p>	<p>318～368 ページ</p>	<p>18</p>

4 恐慌の時代	済・社会 ウ 第二次世界大戦と日本		
5 軍部の台頭			
6 第二次世界大戦			
第11章 占領下の日本	(6) 現代の日本と世界 ア 現代日本の政治と国際社会 イ 経済の発展と国民生活の 変化 ウ 歴史の論述	369~417 ページ	5
1 占領と改革			
2 冷戦と開始と講和			4
第12章 高度成長の時代			
1 55年体制			
2 経済復興から高度成長へ			
第13章 激動する世界と日本			3
1 経済大国への道			
2 冷戦の終結と日本社会の変容			
歴史の論述 歴史の流れを組み立てる			1
		計	140